



大館市の予算を家庭の家計に置き換えてみると・・・

# おおだてさんの家計簿 2014

おおだてさんの家は、会社員のお父さんと、パートで働くお母さん、大学生の兄と小学生の妹の4人家族。年収は500万円です。

## 収入

◎一般会計の歳入に当たります

- お父さんが働いて稼いだ給料
- お母さんが家計を助けるためにパートで得たお金
- おじいちゃん、おばあちゃんからの援助
- 車庫の改築と教育資金を借りるためローンを組むことに...
- 見込まれる支出に対して足りない分、貯金を少し下りました
- 前の年の残り

項目	金額	予算上の区分
給与収入	116万円	市税
パート収入	10万円	諸収入(使用料、手数料など)
実家からの援助	295万円	地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税など
教育ローンほか	38万円	市債
貯金取り崩し	23万円	繰入金
前年の残金	5万円	繰越金
雑収入	13万円	雑入(その他)
合計	500万円	

## 支出

◎一般会計の歳出に当たります

- 家族の食事代
- 家族の病院代や学費
- 東京で暮らす大学生のお兄ちゃんへの仕送り
- 新築した住宅のローン
- 住宅リフォーム補助金を使って車庫を改築
- 将来のために貯金します

項目	金額	予算上の区分
食費	90万円	人件費
医療教育費	104万円	扶助費
光熱水費	69万円	物件費
仕送り	61万円	他会計への繰出金
自治会費保険料	65万円	補助費などその他
借入金返済	55万円	公債費
車庫の改築	54万円	投資的経費(普通建設事業費など)
貯金	2万円	積立金
合計	500万円	

おおだてさんの家庭では、家族で稼いだお金(市税、諸収入など)だけでは1年間の生活に掛かる費用(支出)を賄うことができません。そのため、親からの援助(地方交付税など)を必要としています。

今後、給料が増えることはあまり期待できず、医療費や子どもへの仕送りなどが増えていくことを考えて、無駄を無くし必要なお金をお金を掛けられるようやりくりしています。

## 用語解説

**一般会計** 主に市税をもとに、市が基本的な行政サービスを行うための会計。

**特別会計** 特定の事業と一般会計とを区別して経理する場合に、法律や条例で設ける会計。本市は、国民健康保険や介護保険など16の会計を設置しています。

**企業会計** 地方公営企業の会計で、独立採算が原則。本市には、病院事業・水道事業・工業用水道事業・下水道事業があります。

**義務的経費** 人件費など支出が義務付けられている経費。

**投資的経費** 道路や学校の整備など社会資本として将来に残るものの整備経費。

**依存財源** 国・県から交付されるお金。

**自主財源** 市が自らの権限で得ることができるお金。

## 予算の概要

一般会計や特別会計、病院等公営企業会計を含めた「全会計」では、総額で732億3886万4千円となり、前年度当初予算と比較すると、4.1%、28億6271万4千円の増となっています。

会計別で見ると、一般会計では災害復旧費などにより2億1234万9千円の増、国民健康保険特別会計は、1089万7千円の増となっています。

また、介護保険特別会計では、保険給付費の増により6億9355万3千円、病院事業会計では、電子カルテ導入事業などで10億1346万3千円、水道事業会計では浄水場等の耐震化事業などにより6億4047万7千円の増になりました。

## 一般会計

**◆歳入** 前年度当初予算と比較すると、依存財源である「地方交付税」は、1億547万5千円、0.9%の減となったものの、自主財源の大半を占める「市税」が、75億1022万円で1822万4千円、0.2%の増になるなど、21項目中、6項目が増加し、全体で2億1234万9千円の増となっています。

**◆歳出** 性質別経費を見ると、義務的経費である人件費が6135万2千円、1.1%の減、公債費は1億7518万1千円の増となっています。

一方、投資的経費においては消防救急デジタル無線などの整備が25年度で終わったため、6億4855万6千円の減となっています。